

福徳新聞

(毎月) 廿五 二回
定価 郵税五厘 五割増
廣告料 報費五割増
発行所 福徳新聞社
市島 範三

はリスク
目丁五町平
局薬邊野山
……る限に……

将来の大平市を建設すべく 任命に當る青年團 幹部の人材元旦

今や平町青年團は其の團副團長
則の立派にして而かも團員
一同が統一的に活躍し和衷
協同く青年團の社會的地
位並に其運動の國家的重要
性の發揚と向上の點に於て
断然賞讃を蒙るに至りしつ
ある事は最も平町の誇り
とするに充分なるものある
を思ふ。而して本社は茲に
最も功績を有する統率教養
の任にある人材諸賢に深く
感謝の意を表する爲是を繞
る人材を鈔録する事とせり
平町青年團長

金成泉一郎君

青年實業家として活動し
亦信用ある紳士であり尙篤
士家として副團長として尤
も適任の人である。副團長
後藤桂仙君彫刻
家として平美術界を代表す
る祖先よりの傳統的彫刻家
であるので常に遠近よりの
囑托に忙殺されてゐる性頗
る温好の人。常任幹事

鈴木康君

君は教育
家として有名ある人材で青
年團に對する博知の所有者
であり。故成哉常任幹事と
しその職責を遺憾なく果し
てゐる。郡評議員

磯貝豊君

君は郡評
議員に選任せらるゝ丈けあ
つて資性明敏温好なる模範
青年である實業方面にも相
當活動を續けて居る。

佐々木俊郎君

東北の木屋と稱せらるゝ丸
本家具店の若主人公として
愛嬌に富む亦斯業に通曉せ
る青年としては稀に見る實
業家である。今日所以を致
しに富む青年であり亦男性的
にしてゐる事も決して偶然で

齊藤堅一郎君

君は同業
家として稀に見る實業家
である。今日所以を致しに
富む青年であり亦男性的に
してゐる事も決して偶然で

今宮政衛君

忠實
なる活動家として其の營職
とする製糖は他に類を見ぬ
と迄で云はれてゐる従つて
店舗も繁榮を極めてゐるが
分團長としては適任の人
結屋町分團長

青天目源一郎君

君は東北に於ける有名
五丁目分團長
として尤も信用を有する人
であるその偉軀は嚴父其の
儘の人で武道の道に長じ現
在警城中學の柔道教師とし
て斯道のため精神的努力を
拂つてゐる。一丁目分團長

遠藤文吾君

君は
吾妻屋物問屋の主人公で
ある多くの言ふ處一言一句實
に聞く人をして感動せしめ
ねば置かぬ精神的の人材で
ある。六七丁目分團長

諸橋久四郎君

君は
益屋王國の令弟あり巨財に
誇らず仁良の紳士として平
素町の爲めに努力を惜まざ
る有識者として最も好評あ
る人格者である。

鈴木政橋君

君は
青年の精神淨進に貢献する
人格者であり亦篤志家とし
て此の子と云ふべきである
堤の内分團長

鈴木政橋君

君は
青年の精神淨進に貢献する
人格者であり亦篤志家とし
て此の子と云ふべきである
堤の内分團長

松本翁之助君

君は
元平活版所の工場長とし
て活動を續け後二葉活
版所の創業以來熊健次郎氏
のみに止らず近き前漢に
の一人である氏は常に青年
の任最も重なり細心の注
意と其努力とに生きてゐる
北目分團長

關内榮助君

君は
二に屈指されてゐる店舗の
主人として常に其温善せる
と迄で云はれてゐる従つて
商売のやり場に困つてゐる
將來は必ず大町を背つて立
つべき有爲の紳商である。

藁谷喜太郎君

君は
新川町の老舗谷屋呉服
店主である、資性温厚にし
て透徹せる頭腦の持主であ
り且つ新川町の中堅人物とし
て復た大平市の建設者の第
一人であり所謂少壯實業家
である次期副團長は勿論本
團長には當然就任し以て青
年教育陶化に於て十二分
の活動し得る人材である。

丹野利松君

君は
一言にして正直なる青年と
なし克く最高幹部の眞意を
爲が何事によらず過ちのな
らざる有数の紳商として
に於ける有数の紳商として
も良兄として仰慕せられる
青年を平素愛育しつゝある
胡摩澤分團長

川上金六君

君は
分團長として適任者である
その總てが人格の上に如實
に表顯せられてゐる。

菅野賢治君

君は
武士
的精神の所有者である今や
國家の中堅人物として立つ青
年の分團長として常に斯の
精神の鼓舞に努力しつゝあ
る氏の人格はいつもその衆
となつて表はれてゐる。

加藤正保君

君は
銀座街のマルカ書店主で
ある君は名門家に生れ、少
年時代より拔群の頭腦の所
有者である、書籍商として
近代的の經營者であり青年
實業家であり、スポーツ界
に非常なる趣味を解するの
第一人者だ、所謂多能多才
の大人物であり、將來は政
治方面にも當然進出し得る
ものであらう、白銀分團長

久保田のパン

本店 平町警察署前 賣店常盤銀行前
電話三八三番

郡山銀行組合

- 株式 郡山商業銀行
- 株式 安田銀行郡山支店
- 株式 秋田銀行郡山支店

久保田のパン

本店 平町警察署前 賣店常盤銀行前
電話三八三番

平町を飾る

名區長短評

研古町區長

木澤常松氏

大鹽屋の支配人として始終

忠良なる人で一面慈善家と

しての聞え高く。道路愛護

者として有名な人である。

紺屋町區長

關内喜久次郎

紺屋町炭屋旅館の主人

公温良にして營業に熱

心なる人亦町治上の識見家

である。

二丁目區長

山崎孝之助氏

平町切つての堅い店で勉強

する呉服屋として知らるゝ

紙屋呉服店主として町のた

め亦努力を惜まず重用せら

れてゐる令息賢助君も父君

の後繼として營業に忠實に

して一般顧客より評判の好

い人である

新川町區長

長小次郎氏

商としては最も經驗ある老

店として遠近に知名されて

ゐる、而かも町發展のため

には犠牲的に活躍する人。

南町區長

齋藤寅吉氏

では同氏を一口にオトツサ

ンと云ふ如何に區民より信

用せられてゐるかが此の一

言に表はれるではなからふ

か、亦區長として全く其の

職責を熱心に果しつゝある

立派な人物である。

久保長區長

會川延太郎氏

恐らく奮闘を續けた人今や

其餘慮として繁榮の限りを

盡してゐる亦慈善家として

の聞えが高い。

八幡小路區長

鍋田三重氏

高尚なる人格とその平素の

行爲を見る時何人も同氏の

その以前の若かりし時代の

面影を偲ぶものがあらふ今

尚ほ區民の爲め有ゆる奔走

に日も足らず活動を續けて

ゐる、平舊藩士である。

月見町區長

根本一馬氏

本郡

に於ける養雞家の泰斗とし

て斯業向上のため盡精しつ

ゝあり、現在の本郡養雞事

業の盛因は一にして同君の

力に俟つもの大なるを知る

べきであらねばならぬ而し

て亦熱心なる愛町の士とし

て名區長の名を恣にしてゐ

る。

古鍛冶町區長

酒井政之助氏

酒井活版所の優秀なる印刷

物であることによつて一躍

他所を凌駕するの盛況を示

すに至つた事は同氏の忠實

なる營業方法と勉強によ

る處であるが亦父君を守る

良子息の奮闘も決して忘れ

得ぬ事實である。而して同

町區長として亦區民のため

熱力を惜まず發展向上を圖

つてゐる。

材木町區長

長瀬富彌氏

に於ける米穀商の老店とし

の士にして町治のため至誠

に繁昌をして居る店主であ

る同氏は當代町中稀に見る

士木請負業は多年の造詣と

温良なる君子的人物として

經驗による結果としてその

頗る好評あり氏も亦商略に

なす處堅實にして功果を齎

富む愛町區長の随一人とし

すの所以によりますます大

て推賞及價ひする人格者で

成の域に到着してゐる。

(紙面の都合上以下次號

掲載することとせり)

胡麻澤區長

赤塚勇吉氏

仁俠

の士にして町治のため至誠

に繁昌をして居る店主であ

る同氏は當代町中稀に見る

士木請負業は多年の造詣と

温良なる君子的人物として

經驗による結果としてその

頗る好評あり氏も亦商略に

なす處堅實にして功果を齎

富む愛町區長の随一人とし

すの所以によりますます大

て推賞及價ひする人格者で

成の域に到着してゐる。

(紙面の都合上以下次號

掲載することとせり)

名湯

温泉場である。旅

來るからである。

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

藤沼醫院

惠まれた山の湯の街

名湯土湯温泉

推古天皇の時代に發見

吾妻を背景とした感じのし館業者が何れも親切一路を
つとめ落着いた温泉宿これ標語として浴客の便宜を計
が名湯土湯温泉である。往つてゐる事と一面交通機關
時は會津街頭の要所としてが完備し福島から直行する
其處に残された詩的な情話乗合自動車、金谷川、松川
があり今尚ほ浴客の語り草の兩驛より往復する乗合自
となつて居るが

時代

歌良音曲も其後が

絶えて今は静かな山間のし

やれた和な湯の町として夥

しく發展してゐる。戸数は

約百戸、此の中に農あり、

旅館ありて旅合はる。要するに此の温泉場の

泉の唯一の強味となつてゐ

る。今日に至つたのはもう一つ

特効があるのに山の温泉と

して天恵に浴する事の多い

上に最も經濟的に入浴が出

るからである。

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

社告

東北の名湯。五色温泉。高
湯玉子湯温泉ぬる湯温泉
土湯温泉の照會記事及び
廣告は次號特大版にて發
行致すべく候

土湯温泉案内

木村屋 山根屋 富士屋 向瀧屋
いりきや 春美屋 錦瀧屋 川上温泉 扇屋

藥學博士柳澤秀吉先生指導
主任藥劑師 山野邊東次郎
東 皇漢藥研究所
郷土生藥の研究
和漢藥の調劑所
◎漢方藥劑の御相談は當所へ
平町五丁目

和洋銅鐵金物問屋

久釜屋商店
諸橋久太郎
平五 電話九番九九番

三井生命保險株式會社平代理店

モリタヤ洋品店
平町五丁目
電話三五三番

内臟外科 醫學士 内木宗八
整形外科 泌尿器科
平新川町十九番地

外産婦人科 木村病院
電話一六四番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

高久病院
平町町 電話五一三番
醫學士 高久 忠
醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄